

## 「一球無二」ならず「瞬無二」

年度当初の予定では、本日は体育大会の振り替え休業日。朝方はずいぶん涼しくなり、体育大会の疲れも出て、たつぷりと朝寝坊できるはずでしたね。予定を確認するまで、私は臨時休業日であることを忘れていました。こうやって、あれよあれよと今年度は時間が過ぎていくのですね。

「校長先生、今年度は卒業証書を何枚注文しましょうか。」  
K事務官が私にこう尋ねてきました。五月の終わりに登校が始まり、まだ四ヶ月しか経っていませんが、もう卒業の足跡が聞こえ始めてきたようです。本来なら、まもなく一年の折り返し点ですからね。考えてみればそろそろ聞こえ始めても不思議はありませんね。

そういえば、バレーボール大会の時には、N写真館のカメラマンO氏が、生徒たちの楽しむ姿を撮影に来てくださいました。卒業アルバム用のスナップ写真です。今朝は三年生が部活動の道具をもって登校していました。五時間目に外の部活動の写真撮影があるようです。毎日毎日感染症や熱中症に気を配りながら過ごしているうちに、時間はどんどん過ぎていってしまうようです。

だからこそ、一日一日を大切にしなければなりませんね。毎日同じことの繰り返しをしているように見えますが、同じことと思える中にも、やりがいや意味をみつけ、主体的に取り組むことが大切です。勉強だって、「いやだ、いやだ」と嘆き続けても何も拓（ひら）けません。どうせやるなら、目一杯力をつけた方がいいですからね。

とりわけ三年生の皆さん。ことごとくいろいろなことが変更や中止となり、悲しい思いや残念な思いをしていることは十分わかります。しかし、みなさんは確実に出口に近づいています。コロナウイルスが猛威をふるってもふるわなくても、この一年の出口は必ずやってくるのです。

これからの半年間は、最上級生として今年度の総仕上げ、中学三年生として義務教育の締めくくり、そして、四月からの新しい進路に向けての本格的な努力がスタートする時期です。一挙手一投足を大切にして過ごしてくださいね。

長い人生の中で、あなたの中学時代は今しかありません。卒業したら、二度と中学時代はやってこないのです。コロナ禍で悲しい中学時代とするか、コロナ禍でも楽しく充実していた中学時代とするかはあなた次第です。テニスには「一球無二」という言葉があるようです。皆さんにとっては、まさに今が「瞬無二」でしょうね。「もう一回」「やり直し」はないという、厳しい言葉です。

（九月十四日 記）